新たな星　第37期生徒会が輝きます

昨日は、ペットボトルキャップ寄付について紹介しました。昨日は生徒会関係でもう１つ大きなことがありました。それは、新生徒会執行部の発表でした。先日の生徒会役員改選に続き、専門委員長選出が行われており、昨日、正式に第３７期生徒会執行部の１９名が発表されました。

この１９名は職員朝礼に参加し、自己紹介をしました。どの生徒も職員室に入る時に、元気なあいさつをして入室しました。立ち姿は礼儀正しく、自己紹介の声は、やる気と決意が満ちていました。マスク越しでしたが、彼らの顔から意欲が伝わってきて、頼もしく思えました。これから新たな太宰府西中学校の創造に向け、力を発揮してほしいと思います。

本ホームページにおいてもこれまで何度か太宰府西中学校生徒会について紹介をしてきましたが、改めて現生徒会執行部（第３６期）について私なりに感じていることを紹介いたします。

まずはスローガンの『**輝け！一人ひとりの星**』です。西中生一人ひとりが様々な個性を発揮し、認め合い、繋がることで、全員が輝こう、そして皆で大きな星を作り上げていこう、というものです。このスローガンはひびきが良いだけでなく、皆のことをとても良く考えたものです。私は赴任して、このスローガンを聞いてからすぐにとりこになりました。今まで色々な中学校に勤め、様々なスローガンに出会ってきましたが、間違いなく**No.1**のスローガンです。

次に全員で毎朝、行っているあいさつ運動についてです。「毎朝」というのはかなり大変です。週に何回かであれば、その日に頑張り、別の日はゆっくりできます。生徒会執行部は「毎朝」、あいさつ運動をしています。雨の日は昇降口でしています。部活動の朝練習がある人は、朝練習を途中で切り上げ、制服に着替え、あいさつ運動に行きます。とても素晴らしい活動です。そして彼らはこの活動を嫌な顔１つせず、行っています。当たり前の習慣であるかのように、毎朝、校門に立ち、あいさつ運動をしています。素晴らしい活動です。学校としては感謝しかありません。

毎月の専門委員会の活動も、学校の雰囲気作りに大いに役に立っています。取組のネーミングは興味を引くものであったり、やる気を起こさせてくれるものであったりします。取組の内容や方法も工夫されたものです。ともすると、「点検活動ばかりで嫌だ」となることもありますが、現執行部が提案する取組は面白いものばかりです。学級委員会の「**ペットボトル回収月間**」、学習委員会の「**全員発表大会**」や「**自学ノートコンクール**」、生活委員会の「**一日一善運動**」、保給委員会の「**ハンカチ持参徹底週間**」や「**生活リズムアンケート**」、美化委員会の「**机・棚すっきり週間**」など、どれも十分に練り上げられた提案です。陰でとても準備したことでしょうし、担当の先生方からも、時には書き直し等の指導を受けたことと思います。そうして苦労して作り上げた提案は、生徒の心をやる気にさせる素晴らしい提案となりました。ここでも、現執行部に感謝です。

また、毎朝、毎昼、毎夕の校内放送も行っていました。毎日定型の連絡もあれば、各委員会からのお知らせもありました。しっかりと要点を伝える校内放送は聞いていて気持ちの良いものでした。「今日は誰かな？」など思いながら、聞くことができました。

以上、第３６期の生徒会執行部の活動について述べました。ただし、この第３６期の生徒会役員が最初からこのような活動ができていたというわけではありません。最初はとても苦労したことと思います。つらいこともあったでしょうし、「こんなはずではなかった」と思ったこともあったかもしれません。しかし、「立場が人を作る」と言いますが、生徒会役員という立場になったことによって、様々な準備や活動を経て、成長したのだと思います。

さて、それでは第３７期の生徒会執行部は、どのような活動をするのか？とても楽しみです。最初はとても苦労したり悩んだりすると思います。そういう時は「初心忘るべからず」で、自分が生徒会になって、やってみようと思ったことを思い出し、頑張ってもらいたいと思います。

次は、どんな 星 が輝くのか、楽しみです。

現状	○委員の取り組みや行事に積極的 ○団結力がある ○楽しい会話や明るい会話が多い ○笑顔が多い	●取り組みや活動が続かない ●仲間はずれがある ●思いやりのない言動がある ●馬鹿にするような笑い、発言しにくい雰囲気がある